

平成28年度の管理運営状況（東京武道館）

指定管理者： 公益財団法人東京都スポーツ文化事業団グループ

大項目	中項目	確認項目	特にアピールしたい点(具体的に)、改善点等										
管理状況	適切な管理の履行	施設の提供について	「武道振興の拠点」として、質の高い大会開催と成功に貢献 ・全国大会などの多様な大規模武道大会をより多く開催できるよう調整 ・主催者と開催前に密な打合せを実施し、円滑な大会運営に向けてサポート										
		施設・設備の保守点検	安全・安心、快適な利用に向けて取組 ・各道場の床等を利用前後の点検や定期点検等により、安全な利用に向けて不断な取組 ・館内スタッフによる連絡会や施設見回りを定期的に行い、情報共有と修繕等の検討を実施										
利用の状況	個人利用者数		2年連続で過去最高の利用者数を更新 ・利用者増を図るための継続的な取組が効果を発揮 毎時の利用状況をツイッター配信(平成25年7月～) Tシャツ、短パン等のレンタル(平成25年9月～) 恒久的磁器式ポイントカード導入(平成27年3月～) レディースデー企画(平成28年5月～7月) この他、施設内の横断幕の設置や、近隣住宅への継続的な新聞折込チラシの配布等を実施 トレーニングルーム 個人利用者数の推移(無料利用者を含む。) <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間利用者数</td> <td>51,052人</td> <td>57,709人</td> <td>66,062人</td> <td>69,013人</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	年間利用者数	51,052人	57,709人	66,062人	69,013人
	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度								
年間利用者数	51,052人	57,709人	66,062人	69,013人									
	団体利用稼働率		2年連続で過去最高の稼働率を記録 *通年開館年度 ・優先受付での綿密な利用日調整、新規大規模大会の誘致・開催 ・定期的利用団体に施設空き情報を発信し、継続的な利用を促進 ・平日利用が想定される学校運動部活動、チーム・サークル等への継続的なPR 大武道場 稼働率の推移 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> <th>平成27年度</th> <th>平成28年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>80.5%</td> <td>81.8%</td> <td>85.4%</td> <td>87.3%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	稼働率	80.5%	81.8%	85.4%	87.3%
年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度									
稼働率	80.5%	81.8%	85.4%	87.3%									
事業効果	スポーツ振興事業及び自主事業の実施状況		計画に基づき着実に実施し、武道・スポーツの普及振興に貢献 ①スポーツ振興事業……33事業 ・武道系部活動合同稽古等の青少年向け武道稽古、働き盛り世代向けの武道稽古、子供や高齢者等の武道体験、各種武道の指導者育成など、武道に親しむことができる機会を提供 ②自主事業 ・有名選手指導者ふれあい事業等3事業を実施し、武道、伝統文化に親しむ機会を提供 ・スタジオプログラム(37メニュー、1,254回実施)を展開し、スポーツ実施率の向上に寄与 ③体育の日記念事業……延べ6,500人を超える参加者を獲得 ・子供の武道体験など多彩な体験機会を提供し、広く武道・スポーツに親しむ機会を提供 ・柔道金メダリスト、空手道特別ゲストによる指導や演武披露、パラリンピック種目の体験、写真パネル展示等を実施し、東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成に寄与 ※若年層が武道に親しんでもらえるような取組の充実(昨年度評価を受けての取組) ・世界選手権等の優勝経験者と青少年等がふれあう「有名選手・指導者ふれあい事業」、体育の日記念事業等における、小学生を対象とした「武道体験」、オリンピック柔道金メダリストの講話や指導などを展開し、若年層における武道の裾野拡大に取組										
	サービスの向上に向けた取組		①弓道場芝生の一部張替(5月～10月) ②館内に憩いのスペースを設置(9月) ③デジタルサイネージの更新(平成29年3月)										
	利用者ニーズの把握		多様な方法でニーズを把握し、業務改善に取組 ・利用者満足度調査結果 9割超が満足と高評価 ・大会主催団体等との利用者懇談会や日常的な意見収集によりニーズを把握し、改善に取組 ・覆面調査員によるトレーニングルームのサービス品質チェックを実施し、その評価結果をもとにスタッフ間で意見交換を行い、改善に取組										